



図書館だより

No. 159

2018年6月号

URL <http://www.lib-iwata-shizuoka.jp/>

磐田市立図書館 発行



6月の図書館カレンダー



未来へつなぐみんなの心得
本を読もう、読み聞かせよう

	1(金)	2(土)	3(日)	4(月)	5(火)	6(水)	7(木)	8(金)	9(土)	10(日)	11(月)	12(火)	13(水)	14(木)	15(金)
中央				休		2歳位～10:30～ 3歳位～15:00～			小学生 10:30～		休		2歳位～10:30～ 3歳位～15:00～		
福田		3歳位～10:30～		休		～3歳位 10:30～			3歳位～10:30～		休		～3歳位 10:30～		
竜洋	0歳～10:30～	3歳位～10:30～		休	休	休	休	休	休		休				2歳位～10:30～
豊岡	休			休				2歳位～10:30～ 15:30～			休				2歳位～10:30～ 15:30～
にこっと	8月オープンを目指しています。														

	16(土)	17(日)	18(月)	19(火)	20(水)	21(木)	22(金)	23(土)	24(日)	25(月)	26(火)	27(水)	28(木)	29(金)	30(土)
中央	0歳～10:30～		休		2歳位～10:30～ 3歳位～15:00～		休	小学生 10:30～		休		2歳位～10:30～ 3歳位～15:00～			
福田	3歳位～10:30～		休		～3歳位 10:30～			3歳位～10:30～		休		～3歳位 10:30～	休		3歳位～10:30～
竜洋	3歳位～10:30～		休			2歳位～10:30～		3歳位～10:30～		休			2歳位～10:30～		3歳位～10:30～
豊岡			休				2歳位～10:30～ 15:30～			休				2歳位～10:30～ 15:30～	
にこっと	8月オープンを目指しています。														

休 = 休館日
 = おはなし会(読み聞かせと手遊び)
 ※中央図書館の第2・第4土曜日はストーリーテリングほか
 4歳くらいから楽しめます。
 ※所要時間は20～30分程度

◎ 蔵書点検による休館
 豊岡図書館 5/29～6/1
 竜洋図書館 6/5～6/9
 ※月曜日は、通常の休館日



～レファレンスの窓から～ 第62回 みんなの疑問を図書館へ来て調べてみませんか!!

- Q. 明治時代にどのように通貨を「円」に変えたか知りたい。
- A. 現在は「円」ですが当時は「圓」の字です。明治政府は円形硬貨・十進法・圓単位・銀本位制の採用を内定しました。円形を採用したのは、摩耗しやすい方形を避け、携帯の利便性をはかったものとされています。円形から「圓」としたというのは俗説のようです。「圓」という単位を採用した理由には諸説あるようですが、中国の模倣という説が有力です。
- 『通貨の日本史』(中公新書)、『貨幣の歴史学』を参考にしてください。小説ではありますが『円を創った男 小説 大隈重信』渡辺房男/著 と合わせて読むと参考になります。

イベント案内

中央図書館 16ミリ映写技術講習会

1回の受講で映写資格を認定します。

受講後は磐田市視聴覚ライブラリーの16ミリ映画が団体で使用できます。

日時 6月16日(土) 9:30~12:00

場所 中央図書館 2階 会議室

対象 市内在住・在勤・在学のいずれかに該当する高校生以上の方

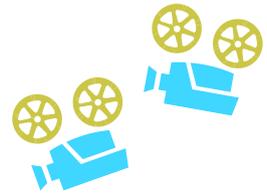
内容 16ミリ映写機の操作方法(講習と実技)

定員 先着20人

持ち物 筆記用具〔参加費無料〕

申込み 5月31日(木) 9:00から6月13日(水) 17:00までの間に、
電子申請または直接中央図書館へ。

電子申請は磐田市立図書館ホームページまたは
右記2次元バーコードから応募してください。



《問合せ先：中央図書館 Tel0538-32-5254》

中央図書館 親子ふれあい広場「なつやすみおたのしみ会」

たのしい うた と おはなし もりだくさん!

日時 7月28日(土) 10:30~11:30

場所 中央図書館 2階 視聴覚ホール

内容 人形劇・腹話術・手遊び・パネルシアター 他

出演 にんぎょうの会、磐田北高生徒

定員 150人/入場無料(※要入場整理券)

◎入場整理券は7月11日(水) 9:00から中央図書館カウンターで配布(ひとり5枚まで)します。



《問合せ先：中央図書館 Tel0538-32-5254》

中央図書館 夏休み子ども図書館クラブ

図書館の仕事を体験してみよう!!

日時 8月9日(木) 8:00~12:00

場所 中央図書館(玄関前に8:00集合)

対象 市内小学校4~6年生

内容 図書館の歴史を知る、開館準備や本の装備・カウンターなどの仕事体験、いつもは入れない書庫の見学など

定員 先着15人

持ち物 図書館利用者カード、自分の本2冊(表紙が厚いもの)、筆記用具〔参加費無料〕

申込み 7月11日(水) 9:00から7月25日(水) 17:00までの間に、
電話または直接中央図書館へ。



《問合せ先：中央図書館 Tel0538-32-5254》

【蔵書点検による休館のお知らせ】

豊岡図書館・竜洋図書館の2館では、下記の期間中、蔵書点検のため休館させていただきます。みなさまに気持ちよくご利用いただくため、この期間中に資料の点検作業をします。休館中は、開館している他の市立図書館をご利用ください。

《休館期間》 豊岡図書館 5月29日(火)~6月 1日(金)
竜洋図書館 6月 5日(火)~6月 9日(土)
※上記期間前日の月曜日は、定例の休館日となります。



《おねがい》 休館中に返却する際は、開館している他の市立図書館窓口へ返却いただくか、図書館の返却ポストへ入れてください。ただし、CD・DVDなどAV資料のポスト返却は、破損のおそれがありますのでご遠慮ください。AV資料や相互貸借資料は、図書館事務室(月曜日は除く)へ直接お返しください。

展示会



中央図書館

★開催時間：火曜～金曜 9:00～18:00
土曜・日曜・祝日 9:00～17:00
★会場：中央図書館 1階 展示室
《問合せ先：TEL0538-32-5254》

平成 30 年度 磐田絵の会作品展	6/2 (土)～6/10 (日)	見付交流センターを拠点に月2回活動、油彩・パステル・日本画を展示します。
黒と白の世界観	6/14 (木)～6/21 (木)	月1回、先生の指導のもと、見付交流センターで活動してきた「切り絵」の作品を展示します。
いわたの工芸展	6/23 (土)～7/1 (日)	隔年で行う展示により会員の技術向上を図り、市民の文化的興味に応える展示をします。

～お気に入りの1冊～

☆利用者の方からのおすすめの本です。素敵な本との出会いを応援します。☆

紹介者(パソナ)：ガーベラ 題名：『ちいさな天使のものがたり』
著者：かわかみ せいじ/文 としくら えみ/絵 満行 勝/監修
東洋館出版社 / (刊)

流産で子供を失い悲しみのなかにいました。子供を授かっても流産する確率は15%程あると言われていました。この本を読むことで、悲しんでいるだけではいけない、前を向いて生きていこうと思えました。

パステルカラーの絵もとってもかわいく癒されます。もし同じような経験をされている方がいたら読んでみて下さい。



～電子図書館から1冊～ 第12回

さあ、今月も「電子図書館」でクリックひとつから、時空旅行に出かけましょう！！
操作方法などは、お気軽に図書館職員にお尋ねください。

ねざめしゅう 『寝覚集』

はせがわ さだお
長谷川 貞雄 / 著 1910 (明治43) 年

明治時代に海軍主計総監や貴族院議員を務めた長谷川貞雄(1845-1905)の歌集。見付出身の陸軍大将大久保春野(1846-1915)による序文があります。

長谷川貞雄は、敷智郡宇布見村(現浜松市西区雄踏町宇布見)の中村家に生まれ、15歳で父の実家である豊田郡川袋村(現磐田市川袋)の長谷川家を継ぎました。長谷川家は、代々神官と酒造を営み国学を学ぶ家柄で、貞雄も水神社(八雲神社)の神主を務め、浜松の豪商の別邸「比礼廻舎」で開催される学習会に参加して、国学者有賀豊秋から和歌や国学を学びました。

1868(慶応4)年、戊辰戦争が始まり官軍の江戸進軍が伝えられると、貞雄ら「比礼廻舎」の有志は、桑原真清(参野・津毛利神社神官)を中心として結集し、大久保春野(初太郎)を中心とする見付・淡海国玉神社神官大久保忠尚(1825-1880 春野の父)が運営する塾の塾生らと合流して、300人余りで「遠州報国隊」を組織しました。そして官軍への協力・従軍を嘆願し、貞雄や春野ら87名が江戸に向かいました。

11月に報国隊が解散した後は帰郷する者もいましたが、貞雄は東京へ残り、海軍省に出仕し、1889年に海軍主計総監となりました。1891年に退官後は、貴族院議員として活躍しました。晩年は浜松に住み各種団体の要職を務め、浜松裁縫女学校(現浜松学芸高校)の創立にも尽力しました。

春野は、維新後、陸軍省へ出仕し、1907年男爵に列せられ、翌年、薩長出身者以外で初めての陸軍大将となりました。貞雄と春野は、ともに桑原真清の娘を妻とし、義兄弟の関係です。

「寝覚集」は、貞雄の没後に編さんされました。軍人としての勇ましい歌もありますが、多くは四季や風景を愛でる歌で、若き日の国学者としての姿を彷彿させるものです。

「赤心報国」 屍はしみつけ苔むせ大君のまけのまにまに身をやつくさん

「見付天神社千年祭に梅を」 菅原の神の御前の梅のはな千代へていよゝ香ににおひけり

